

# こんにちは！ こしいしかつ子

発行元：奥石且子 横浜市栄区公田町514小岩井ビル2F  
TEL045-894-9956 FAX045-894-9957  
<http://www.koshiishikatsuko.jp/>



働く女性・母親の目線で地域の課題を市政に届けます

です!! [レポートNo. 6]

## 地域交通を再考する ～バスネットワークについて～

詳しくは裏面をご覧ください▼

### 奥石かつ子公式ウェブサイトオープン

<http://www.koshiishikatsuko.jp/>

オーバルブログも一新！ →<http://katsukok.iugem.jp/>

YouTubeもご覧ください！ →<http://bit.ly/g4HHU7>



### つながいトーク

<http://katsukok.iugem.jp/?cid=9>

みなさまの日常を綴っていただく投稿企画「つながいトーク」をブログに連載しています。「私の毎日はこんな感じ」とか「実はこんなことを考えています」など、等身大でがんばっている皆さまの様子を短い文章にしてお寄せ下さい。皆さまのホンネを少しずつ積み重ねていくことで、今という時代の抱えた問題点や、あるいは希望といったものが浮き彫りになって、こしいしかつ子が今やらなければならないことが見えてくるのではないかと考えています。

#### ●原稿はどの方法でも

方法1) ホームページの連絡先をクリック  
投稿用フォームに書き込んで送信。

方法2) 事務所にFAXで送る  
FAX番号 045-894-9957

方法3) お電話ください！  
丁寧にご案内させていただきます。  
電話番号 045-894-9956

## 来る! 河野太郎 衆議院議員

こしいしかつ子  
弁士: 奥石且子

2月27日(日) 午後2時半開会  
あーすぷらざ・プラザホール



[こしいしかつ子プロフィール] 昭和43年(1968)横浜市栄区上郷町生まれの2児の母●横浜市立犬山小学校(現上郷小)上郷中・県立上郷高校(現横浜栄)・川村学園女子短期大学英文科卒業●古美術から現代アートまでを対象としたイベント企画に従事●その後前横浜市会議員つのだ宏子事務所に勤務●参議院比例区支部長秘書として子育てに市民活動にと奮闘  
[現在] 自民党横浜市連青年局次長●さかえ福祉まごころの会理事長●国際芸術家センター元理事●環境健康学トランスレーター●アフリカエイズ孤児を支援する女性の会会長●学校給食と子どもの健康を考える会会員●三味線音楽普及の会会員 他



## 地域交通を再考する ～バスネットワークについて～

少子高齢化、人口減少による社会構造の変化は今後、益々加速すると考えられます。

住民生活に特に身近な問題である交通のあり方は、先行して検証と実践を進めなければならない重要課題のひとつです。

以前、横浜市で初めてのコミュニティバス「西区おでかけサポートバス」というものがあったのを皆様はご存知でしょうか。これは市営バスが運行していたコミュニティバスで、形は小型バスでしたが運賃は路線バスと同額。本系統専用回数券や70歳以上の割引もある本格的なものでした。

2003年12月から2007年3月まで運行していましたが、利用客や運賃収入額が目標値をはるかに下回る事から、運行を終了することとなりました。このように、コミュニティバスの運行については、採算のとれない路線を廃止していくケースが多いため、バス事業者の収益確保が大きな問題となっています。そこで、スクールバスに住民と一緒に乗りバスを効率的に使うという方法があります。

文部科学省は生徒の通学に用いるスクールバスへの住民の混乗を認めていますし、「スクールバスのコミュニティバスへの統合の取り組みと効果に関する研究」(大阪大学)という論文の調査結果として、混乗による住民からの不満はなかったとしています。

さらに同論文では、国土交通省の地方バス路線維持費補助制度に特別指定生活路線運行費補助を設け、路線バスとスクールバスの再編成を促しており、統合を行うための制度の整備は進んでいるとされています。

しかし、スクールバスに子供を乗せる親の立場からすると、様々な住民が混乗することによる不安を口にするかたもいらっしゃいますので、子どもたちの安全確保という点に考慮しながら検討する必要があります。

私は、多くの主体者による知識と見識を総動員できる協議会などの場づくりを改めて求めていきたいと思っています。

みなさまは、どのようにお考えになられますか。



横浜市で初めてのコミュニティバスとして運行されていた「西区おでかけサポートバス」愛称:はまちゃんバス。

国土交通省の研究会が新たなバスネットワークの構築が必要とした報告書をまとめています。バスネットワークの将来像に関する研究会(2009.11. 16～2010.3. 30)

[http://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha\\_tk3\\_000028.html](http://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha_tk3_000028.html)

報告書は地方自治体が取り組むべき事項として、路線バスだけではなくコミュニティバスや乗合タクシーなどを含めた総合的な議論をすることにより、公共交通のあり方についての検討を推進する必要があるとしています。

<http://www.mlit.go.jp/common/000115797.pdf>

この記事は「こしいしかつ子のオーバルブログ【つながりトーク】」にお寄せいただいた原稿をもとに起草させていただきました。タウンニュース栄区版にも掲載させていただきます。



関心と感動を